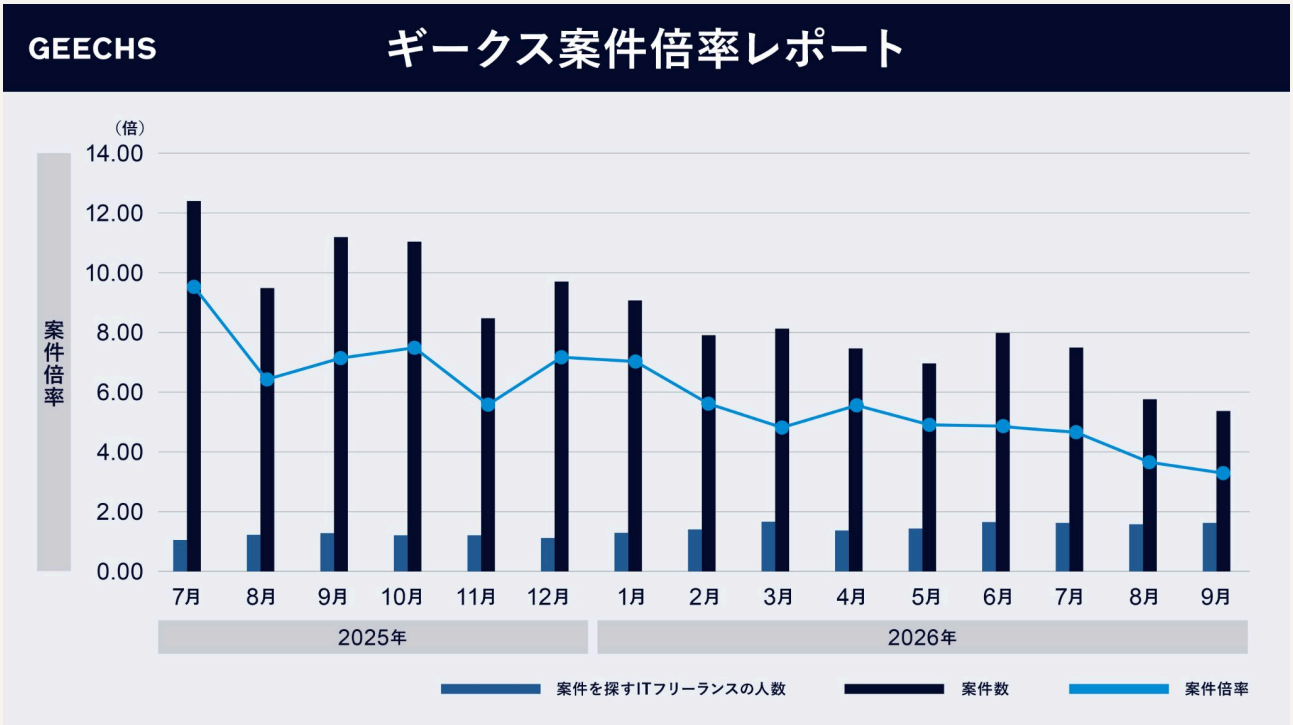
News Release

2026年 11月 11日
ギークス株式会社　（証券コード：7060）

ITフリーランス市場における需給トレンドを表す「ギークス案件倍率レポート」～全案件に占めるAI案件の比率の増加分析～

ギークス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役CEO：曽根原 稔人、以下ギークス）は、案件数と案件を探すITフリーランスの人数から算出した「案件倍率」をまとめた、「ITフリーランス案件倍率レポート」を発表いたします。今回は2026年7～9月分の案件倍率に加え、生成AIの普及に伴う案件内容そのものの変化について、あわせてお伝えします。



▶▌2026年7～9月における案件倍率の推移

2026年7月から9月において、案件倍率は、7月：4.65倍、8月：3.67倍、9月：3.32倍と推移し、四半期累計では3.88倍となりました。

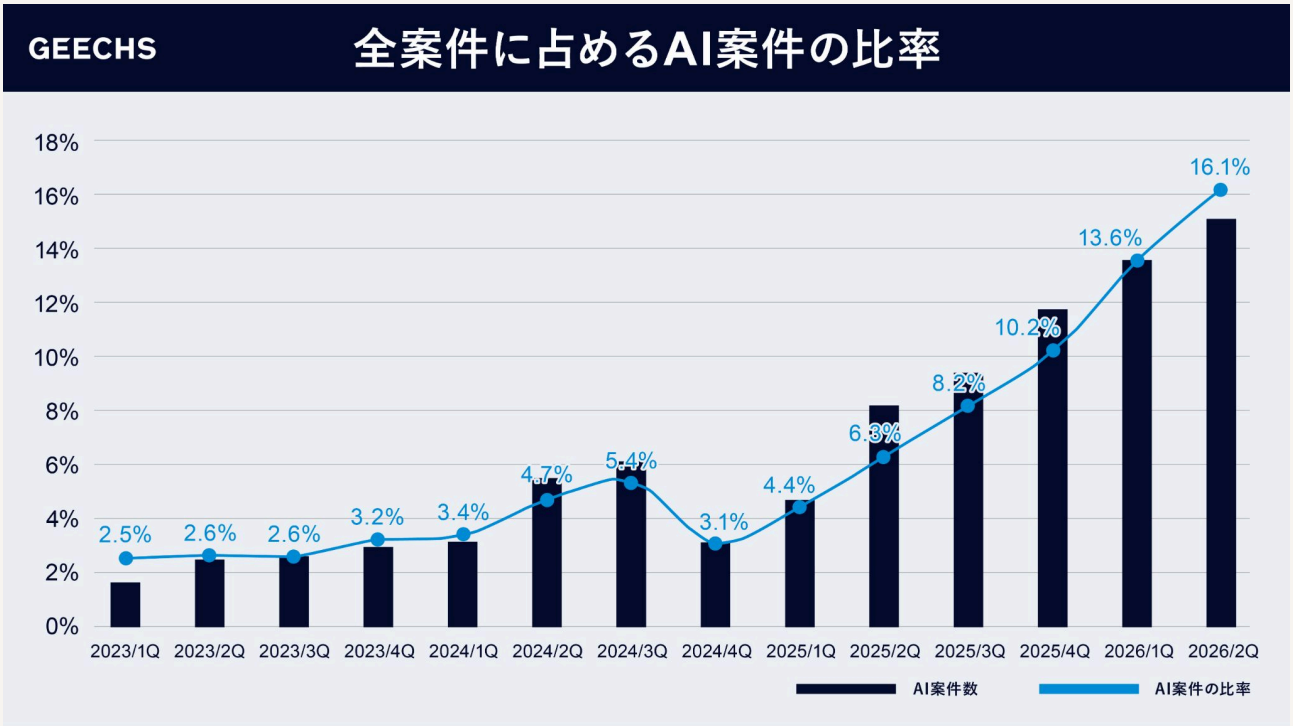
この背景の一つには、生成AIの普及に伴い、コーディングを中心とした実装工数がAIに代替される動きが続いているという、開発現場での変化があります。こうした中、PM・コンサル・テックリードなどの上流案件への需要が高まっており、2026年7～9月においては、上流案件が占める割合が16.1%と、前年同期（9.0%）から7.1ポイント上昇しました。

上流案件の割合の上昇と、上流案件自体の単価の上昇により、首都圏の平均契約単価は前年同期比で2.0%上昇し、契約単価の高い案件（高単価帯）が占める割合も、前年同期の13.7%から18.1%へと高まりました。案件獲得数でも、PM関連は前年同期比で30.0%増加しており、案件の中心は上流・AI 活用へと広がっています。

▶▌AI案件の内訳の変化

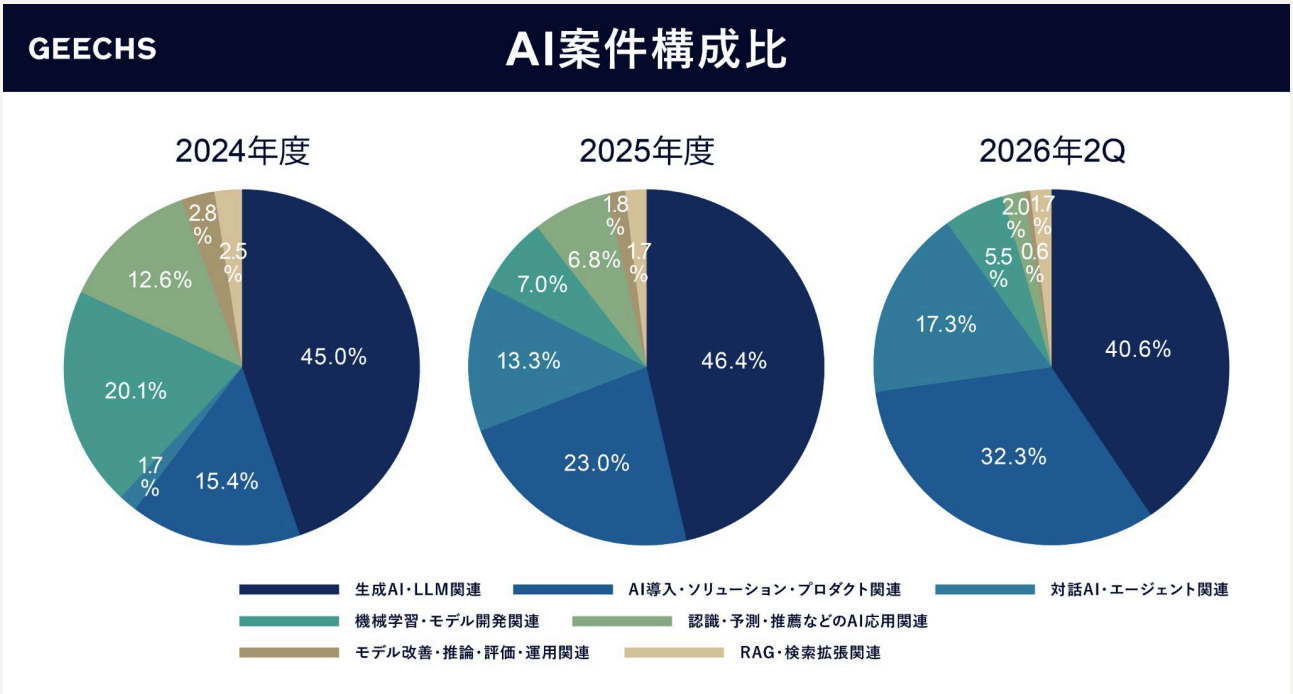
当社が取り扱う案件のうち、AIに関連する案件（以下、AI案件）を7つの分野に分類し、2024年度と2025年度における構成比の変化を比較・分析しました。

＜AI案件の内訳　7分類＞
- 生成AI・LLM関連
- RAG・検索拡張関連
- 対話AI・エージェント関連
- AI導入・ソリューション・プロダクト関連
- 機械学習・モデル開発関連
- 認識・予測・推薦などのAI応用関連
- モデル改善・推論・評価・運用関連



▲全案件に占めるAI案件の比率

2026年度2Q（7～9月）の全案件に占めるAI案件の比率は16.1%となり、前四半期（13.6%）から上昇しました。前年同期（6.3%）と比べると約2.5倍の水準となっています。AI案件数も前年同期の約1.8倍に増加しています。また、9月単月のAI案件数は、当社の集計（2019 年以降）において過去最高となっています。



AI案件のうち、「生成 AI・LLM 関連」が最も多く、本四半期においても約4割を占めています。

「AI導入・ソリューション・プロダクト関連」は 2024年度の15.4%から2026年度2Qの32.3%へ、「対話AI・エージェント関連」は1.7%から17.3%へと構成比が大きく伸びている一方、「機械学習・モデル開発関連」は20.1%から5.5%へ縮小しています。

「認識・予測・推薦などのAI応用関連」「モデル改善・推論・評価・運用関連」の構成比も縮小しており、AI案件の中心が、AIを一から開発する領域から、既存のAIを業務に導入・活用する領域へと移りつつあると当社は捉えています。

▶▌今後の見込みと、変化を踏まえたギークスの取り組み

IPA（情報処理推進機構）の「DX動向2026（※1）」によると、AIを導入または試験利用している企業は58.0%に達している一方で、導入効果が「期待どおり」以上の企業は3割にとどまっています。AIの用途も文書の要約・作成が8割を超える反面、「自社製品・サービスの高度化」は10.9%となっており、事業の高度化や新たな価値創出につながる用途での利活用はまだ限定的となっています。

また、AI導入・運用上の課題としては「専門人材が不足している」が50.1%と最も多く挙げられています。AI利活用に向けた課題として、人材の不足やリテラシーの不足、ガバナンス整備の遅れが挙げられていることからも、AIを業務に導入・活用できる人材への需要は、今後も続くと予想されます。

ギークスでは、こうした変化をふまえ、学び・交流・キャリア・案件がつながる場としてエンジニアコミュニティ「Engineer Base」を運営しており、その中核プログラム「Update Guild（※2）」の第1弾として、FDE（Forward Deployed Engineer：顧客の現場に深く入り込み、課題解決を実現する職種）育成プログラムを提供しました。

ギークスは、今後も、案件データに基づく市場変化の把握と、フリーランスのリスキリング支援を両輪で進め、企業とフリーランス双方にとっての「AX時代」の伴走者を目指してまいります。

※1　IPA 独立行政法人情報処理推進機構「DX動向2026」
https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/dx-trend/rcu1hd0000017uk8-att/dx-trend-2026.pdf

※2　「GEECHS JOB」、FDE育成プログラムを提供開始〜AI時代を生き抜く「コンサル × PM」の実践力を提供〜
https://www.geechs.com/newsrelease/20260713_updateguild_fde/

ギークスの「IT人材事業」とは

「働き方の新しい『当たり前』をつくる」をミッションに、ITフリーランスと企業を繋ぐ業界のパイオニアとしてサービスを展開しています。現在24,000名を超えるITフリーランスをネットワークし、安心して挑戦できる環境を支援するとともに、事業モデルを「人材を繋ぐ」から「企業の課題を解決する」へとアップデート。当社の豊富なデータと「人とAIの共創」を掛け合わせたチーム体制により、単なる人材マッチングを越え、日本企業のAI実装を加速させるAXソリューションを提供しています。

提供サービス

ITフリーランス専門の案件検索サイト「GEECHS JOB（ギークスジョブ）」
人材サーチ型のマッチングプラットフォーム
「GEECHS DIRECT（ギークスダイレクト）」
ITフリーランス向け福利厚生プログラム「フリノベ」

会社概要

会社名	**ギークス株式会社**
本社住所	**〒150-6139** **東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア 39階（WeWork内）**
事業内容	**IT人材事業（国内）、IT人材事業（海外）、Seed Tech事業**
代表取締役CEO	**曽根原 稔人**
Webサイト	**https://geechs.com/**

本件に関するお問合せ先
ギークス株式会社 広報 pr@geechs.com